

2023（令和5）年度 いずみ保育園 自己評価表

2023年 7月 7日 評価

評価者氏名 園長 十八公 浄滋

報告者氏名 主任 橋田 浩代

<本園評価対象者>

・主任1名 副主任2名 副主任補佐1名 保育士29名（内育休中2名）

1. 本園の教育・保育目標

保育理念・基本方針

保育園は、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設です。ここに入園している乳幼児が生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごすところであるから、子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進し、養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成することが保育の特性です。

子どもは豊かに伸びていく可能性をうちに秘めています。子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来をつくりだす力の基礎を培うためにいずみ保育園の保育目標を次のように定め、人間像の形成をめざすものです。

根本精神

「あの子ども この子ども ほとけの子ども どの子ども どの子ども たいせつに」

保育目標

1. 報恩 （ありがとうと いう子）
2. 協力 （みんな なかよくできる子）
3. 健康 （つよい からだの子）
4. 慈悲 （おてつだいの できる子）

2. 評価項目 （A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要するの4段階評価です）

自己評価の観点	
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について	評価
① 園の保育理念・保育方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有している	B
<改善点>	
・毎月の自己評価で確認するとともに日頃より心にとめていきたい	
・課題については会議報告を説明や書面でいただき共有しています	
2. 保育について	評価
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	B
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	B
③ 評価、資料（初記録）を集積している	B
④ 園内清掃がなされ、清潔に保たれ、子供が心地よく過ごせるよう配慮している	B
⑤ 天候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	A
⑥ 季節の草花など植える又は観賞する等、保育の中で子供が季節を感じるように配慮を行っている	A
⑦ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	B
⑧ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	B
⑨ 保育についての話し合いをよくしている	B

⑩ 保育士自身が楽しんで保育をしている	A
⑪ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	B
<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・14時までの勤務の為ゆっくりと話し合いが出来ない時がある ・自分自身も保育を更に楽しめるように余裕を持って準備や書類などに取り組んでいこうにしたい ・保育で使用した用具のかたづけ等後回しになり環境が整っていないことがある ・今後も担任間で保育観を一致出来るように日々保育の中で話し合う機会を設けていきたい ・日頃より子どものことや保育の事についての話はよくしてと思う ・一人ひとりに寄り添った保育のバリエーションを増やしていきたい ・子ども一人ひとりの発達、個性に合わせ、コーナーに分けて遊ぶことが出来ると良い ・子どもがこれやってみたいと思うような環境づくりに、まだ改善の余地があるように思うので意欲を伸ばす保育を目指したい ・個々の情報確認・把握 ・季節の草花など植える又は観賞する等、保育の中で子供が季節を感じるように配慮を行っていきたい 	
3. 健康管理について	評価
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人ひとりの体調に合わせた保育を心がけている	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	B
③ 乳幼児突然死症候群(SIDS)や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A
<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・玩具の使用について乳児幼児、特に0、1才児は区別をした方が良いかと常に思っていますがむずかしいです ・玩具の消毒等を定期的に行えるよう心掛けたい ・共同玩具の破損した物は処分をし、安全に気をつける。消毒し、衛生面にも気をつけていく ・常に情報を新しいものにアップグレードしていけるように情報収集をすることが重要と思う 	
4. 行事について	評価
① 行事の種類や実施回数は適切である	B
② 行事のねらいを計画や実施に十分に生かしている	B
<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナが5類になったので、異年齢児が関わられるような行事を増やしても良いと思う ・年に1回奉仕作業をもうけてもよいと思う ・1才児が参加できる行事、クラスで行ってほしい ・行事に向けての準備をもっと余裕をもって取り組むようにしたい ・コロナ禍でできなくなってしまっているものも多く、考え方ややり方を変えることで、できるものに変更していけるように検討が必要 ・コロナ禍に取りやめていた行事を少しずつ増やしていく ・子どもたちが負担にならない練習量、時間を考慮し、十分にあそぶ時間も設けていきたい 	
5. 食育について	評価
① 食育を通して子供たちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	B
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	B
<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カロリー計算は分かりますが、食べられないと意味が無いので、少し汁物の野菜の量を少なくしてみてもいいと思います ・アレルギー児の食事に対し常に調理担当者と連絡を取りあっている ・今年度、時々、栄養士が部屋をまわってくれていることで、食材のことを知るきっかけになったり、コミュニケーションがとれ、食育にとってもいいと思う ・食事中だけでなく、子どもたちが調理の先生と関わる時間が他にも取れるといいなと思う ・育てている野菜を保育(食育)にもっと取り入れていきたい 	

・希望者に限り、食に関する相談やアドバイスなどの機会を設ける	
6. 運営について	評価
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	B
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	B
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	B
<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前もって計画的な打ち合わせは準備ができていたので良いが、突然だとクラスでの予定(仕事をしようとしている)が狂ってしまう為、計画的になるべくしてほしい ・会議の時間が伸びてしまうと午後の保育に影響するので、時間内に終わるようにできると良い ・会議の時間を1時間以内と決め、何を議題としているか明確にする ・会議の時間が長く、もう少し要点をкаいつまんだ会議で良いと思う 	
7. 保健・安全指導について	評価
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	B
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	A
③ 事故や災害に適應できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	B
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレやベランダのスリッパを揃える心がけをしている	A
⑤ 室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている	A
<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々、掃除できない所を時間がある時にでも少しずつ行っていきたい ・保育者が環境を整えていくことも大事だが、安全や衛生について子どもたちにわかりやすく伝え、実践していけるようにすることも大切である ・地震、火災、津波のマニュアルはクラスにあるが、事故のマニュアルがないので見える所に貼る ・マニュアル配置場所の把握 	
8. 研修・研究について	評価
① 実践研究に取り組み、日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させている	B
② 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	B
③ 研修報告を園内で実施している	B
<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・回覧で回ってくるが、会議などで少しの時間報告する機会があってもよいと思う ・いろいろな研修に参加させていただき、とても勉強になっている。それを自身の保育に生かしていきたい ・子どもたちの興味のありそうなことに合わせて新しい教材を使用していく ・学んだことを他職員に発信、共有するだけでなく、子育て支援につながる事はクラスだより等を通して保護者にも発信していく ・研修報告の回覧のみなので、職員会議などで行った研修報告を1～2分に短くまとめて、報告した方が良いのではないかな？ 	
9. 情報について	評価
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	B
<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き情報については、取り扱いに気を付けていきたい。又、保護者が園内に入っているため、そのあたりも十分に気をつけたい 	
10. 設備について	評価
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	A
<p><改善点></p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・クラス前の掲示板をわかりやすくすることを心掛けたい ・掲示の仕方を工夫していきたい 	
11. 保護者支援について	評価
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	A
② クラス懇談や個別懇談を行っている	B
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供をおこなっている	B
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	A
<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との信頼関係を作り、話しやすい雰囲気をつくっていけるようにしたい ・担任の先生から伝言がある時は確実に保護者へお伝えしています ・保護者の表情をよく観察し、聞きたいことや不安に思う事を汲み取れるように落ち着いた対応を今後も意識していきたい ・お迎え時は朝よりも少しゆったりとお話できるので、短い時間でも子どもの様子を伝えたい 	
12. 開かれた保育所づくりについて	評価
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に開放している	B
② 職員による園児に係る「子育て相談」は充実している	B
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	B
④ 中高生の職場体験や実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全職員が理解している	B
⑤ 来客や地域の方に積極的に明るく挨拶をしている	A
<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通勤時やお散歩等、地域の方に出会う事もあるので挨拶をわすれない ・園庭開放用の部屋、職員がいて、月1でイベントなどがあつた方があそびに来やすいと思う 	
13. 情報発信について	評価
① 園だより、ホームページ等で、情報発信に努めている	B
② 行事や子育て支援等を、地域や小学校に対して周知している	B
<p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域へ行事などのお知らせや実施など、HPをお便りにして配布するなど ・ホームページの更新、有効活用 ・園だより、クラスだより、掲示板を使って、子どもの様子や保護者と協力していきたい所などを、工夫して分かりやすく発信していきたい 	

<課題と検討>

- ・コロナ禍からの状況が少しずつ変化しつつあるが、生活が通常に戻っていったり、新しい対応になることで評価が異なってくると思われる。
- ・「幼児期に育てたい10の姿」を目指し、養護と教育の一体的な展開が出来るよう環境を整え保育を心がける。
- ・嘱託医による内科検診（年2回）を歯科検診も行う。
- ・登園児及び保育中の健康状態を観察し、気になる症状があれば受診を促し健康管理に努めた。
- ・研修もコロナ禍で思う様にできなかったが、オンライン ZOOM 等を活用し、多くの職員と共有し、理解を図ることができた。
- ・各小学校とも連絡を取り合いながら連携を図ることもできた。
- ・子育て支援では園庭開放（園内案内）等利用して、子育て等の悩みがある保護者の方に対し相談に応じ、少しでも気持ちが楽になるよう努めることができた。
- ・マニュアル等の確認を定期的に行い職員が自分なりのやり方でやってしまうことなく、園で統一したやり方をしっかり身に着けていけるようにしていきたい。
- ・子どもや保護者と信頼関係を築き協力できる関係性をつくり、サポートできるように自分自身も成長していきたい。